

CentreCOM® 8124 リリースノート

この度は、CentreCOM 8124 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。


1 ソフトウェアバージョン 1.10

2. 本バージョンで修正された項目

2.1 Telnetセッションからポートステータスの変更を行った場合、本製品がリブートする問題がありました。これを修正しました。

3. マニュアルの補足事項

3.1 本体前面 SNMP LED と MGMT LED の表示について

 「ユーザーマニュアル」1-5 ページ

Version1.08以降とVersion1.08未満のファームウェアでは、以下のLEDの表示が異なりますのでご注意ください。

ソフトウェアのバージョンは、sys-stat コマンドで確認することができます。

LED名称	F/W Version 1.08 未満	F/W Version 1.08 以降
SNMP	未サポートのため、常時消灯	SNMPマネージャからのポーリング中のみ点滅、その他の場合は消灯 (telnet、trapを含む)
MGMT	電源投入後、自己診断が正常に終了した後、常時点灯	電源投入後、常時点滅

3.2 RMON 機能についてのご注意

RMON 機能において以下の制限がありますのでご注意ください。


- HistoryControllInterval の初期値は 1800 となっています。
- HistoryControlBucketsRequested において作成可能なテーブル数は、1 ポートあたり最大 500、装置あたり最大 2000 となっています。
- HistoryControlEntry に設定できるエン트리数は 20 エントリーまでとなっています。

3.3 スパニングツリー機能についてのご注意

スパニングツリーを使用する場合は、VLAN(パーチャル・ブロードキャストドメイン/セキュリティ VLAN)を工場出荷時の設定にしてください。

登録した複数のVLANごとにスパニングツリーを設定することはできませんのでご注意ください。

3.4 Telnet 接続に関するご注意


 「ユーザーマニュアル」2-6、3-9 ページ

Version1.08以降とVersion1.08未満のソフトウェアでは、同時に開くことのできるTelnetセッション数が異なりますのでご注意ください。

ソフトウェアのバージョンは、sys-stat コマンドで確認することができます。


	F/W Version 1.08 未満	F/W Version 1.08 以降
Telnet セッション数	5	2

3.5 パスコストのデフォルト値について

 「ユーザーマニュアル」3-71 ページ

ファームウェアVersion1.08以降、パスコストのデフォルト値が「10」に変更されましたのでご注意ください。

3.6 パーチャルLAN(VLAN)設定時のご注意

 「ユーザーマニュアル」3-36 ページ

本製品は、VLAN の設定において2種類のポート・グルーピング方式をサポートしています。

- ・ 「セキュリティ VLAN」によるグルーピング
- ・ 「パーチャル・ブロードキャストドメイン」によるグルーピング

各仕様を以下に示しますので、内容をご確認の上ご使用ください。

特に、パーチャル・ブロードキャストドメインを設定する際は、ネットワーク環境によって障害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

セキュリティ VLAN の仕様

セキュリティVLANは、設定したVLAN内のすべてのパケットに対してフィルタリングが有効です。

隣接する2つのポートを1グループとしたポートグループa~lがあらかじめ定義されており、このポートグループがセキュリティ VLAN を構成する最小単位となっています。

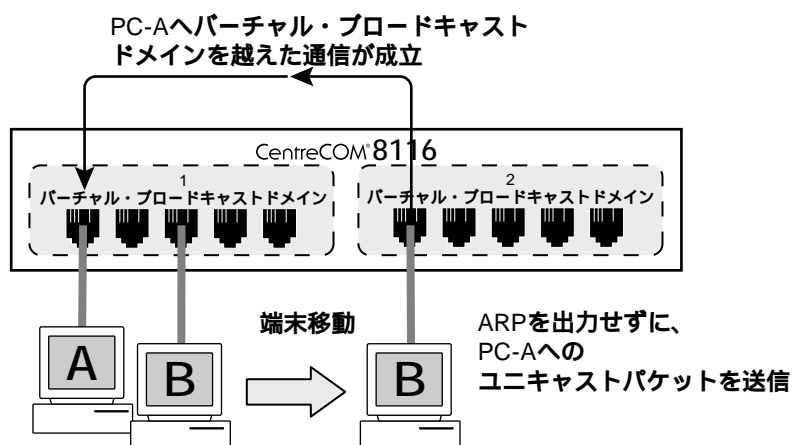
バーチャル・ブロードキャストドメインの仕様

バーチャル・ブロードキャストドメインは1ポート単位で組み合わせを設定することができます。ただし、1つのバーチャル・ブロードキャストドメインを構成するには2ポート以上の組み合わせが必要です。

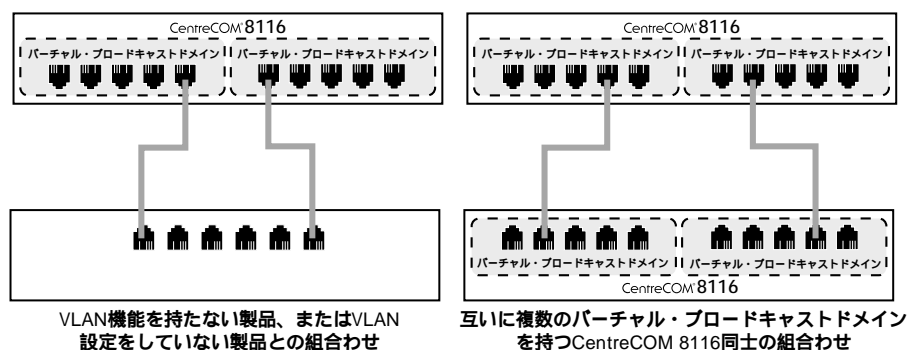
また、バーチャル・ブロードキャストドメイン内でフィルタリングが可能なパケットは、マルチキャストパケットとブロードキャストパケットのみとなっておりますので、設定の際は次の点にご注意ください。

ARPパケットを出力しない一部ホスト系のネットワーク機器を接続した場合、異なるバーチャル・ブロードキャストドメインへパケットが転送されることがあります。

バーチャル・ブロードキャストドメイン1からバーチャル・ブロードキャストドメイン2へPC-Bを移動後、PC-BのARPテーブルをクリアせず、PC-Aへの通信を行った場合、バーチャル・ブロードキャストドメインを越えてパケットが送信されます。




下記のような構成で、本体に登録されていない端末(アドレス)にむけたユニキャストパケットがネットワーク上に発生した場合、このユニキャストパケットによって無限ループが発生します。



4. マニュアルの誤記訂正

4.1 get-port-cfg の説明について

 「ユーザーマニュアル」 3-51 ページ

get-port-cfg コマンドの LAN_TYPE の説明に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

get-port-cfg

• LAN_TYPE	Ⓜ	ETH10	10Mbps 固定に設定されています。
		ETH100	100Mbps 固定に設定されています。
		ETH10/100	10/100Mbps 自動認識に設定されています。
	Ⓜ	ETH10/100	100BASE-TX/10BASE-T 自動認識ポートです。